

私の履歴書

釜本 邦茂

⑫

ト綱に引っかけた。私の獲得に動いた山岡浩二郎専務はJSL初の外国人選手誕生という構想も温めていた。それをネルソンで実現させた。

1で勝ち、7日の韓国戦を迎えた。3勝同士の天下分け目の一戦に国立競技場は東京五輪以来の超満員になった。

前半を宮本輝紀さん、杉山

隆一さんのゴールで2-0で折り返す。後半韓国の猛攻に

は本能的に「入らん」とすぐに分かったのだが。

引き分けて勝ち点で並んだままの日韓の争いは得失点差にもつれこみそうだった。韓

国の役員が「我々は18点取る」と9日の最終戦の前に広言す

ると、怒った相手のフィ

リピンは全員守備に徹し

0-5で終え、10日に南

ベトナムに勝てば日本が

メキシコに行ける状況を

つくってくれた。

最終戦は1-0の大苦

戦。五輪が懸かった重圧

のせいだった。値千金の

ゴールをもぎ取ったのは

レバノン戦で左肩亜脱

臼、それからバンデジで

固定し痛み止めを注射してプ

レーを続けた杉山さんだ。長

沼さんたちが大きな日の丸を

用意して「みんなで回っ

てこい」。生まれて初めての

ビクトリーランを大勢の子供

に囲まれて味わった。

(日本サッカー協会顧問)

選

予

84年2月の引退発表
までリーグ通算20
2点(251試合)
を積み上げた、その
出発点だ。

この年のJSLは

9月にメキシコ五輪予選があるための中断があった。その間を利用し6月はブラジルのパルメイラスと東京・駒沢で3連戦、夏は南米遠征に出た。パルメイラスとの第2戦で日本は2-1で南米のプロチームから初めて金星を挙げた。2点目は私が81分にDFの背後に飛び出し、GKもか

五輪の切符韓国と競う

プレッシャー 最終戦は辛勝

て会った。曲芸のような技を見せる人間が同僚として現れたから本当に驚いた。今のように映像が氾濫する時代ではない。目の前で繰り返し、優れた手本を見られる価値は高かった。技を盗ませてくれたという意味でネルソンは私の一番の師匠になる。

サンパウロの日系2世の大会で活躍したのがブラジルに会社があるヤンマーのスカウ

0、10月3日レバノンに3-



メキシコ五輪に出場した精鋭たち (前列中央が筆者)

あい同点。70分に私が決めて勝ち越したが、72分に一瞬の隙を金基福に突かれた。その金選手が試合終了直前に放った30分のロングシュートはクロスバーを直撃。これが入っていたらメキシコには韓国が行っていた。もっとも、軌道をFWの位置から見ていた私